

HDE Controller X

1-18. OSアップデート

1. 概要

Linux で提供される各種サービスもソフトウェアの 1 つであり、他のソフトウェアと同様にバグが存在する可能性があります。ソフトウェアのバグには様々な種類がありますが、中にはセキュリティ的に重大な被害を及ぼすものも存在します。

そのため各種ディストリビューションでは、提供しているソフトウェアにバグが発見された場合に、アップデートパッケージを提供しています。Linux のセキュリティレベルを保つためには、パッケージのアップデートが欠かせません。

特に必要のない場合は変更しないでください。

2. Red Hat Enterprise Linux 6 の場合

- (1) Red Hat Networkにユーザーアカウントを登録します。

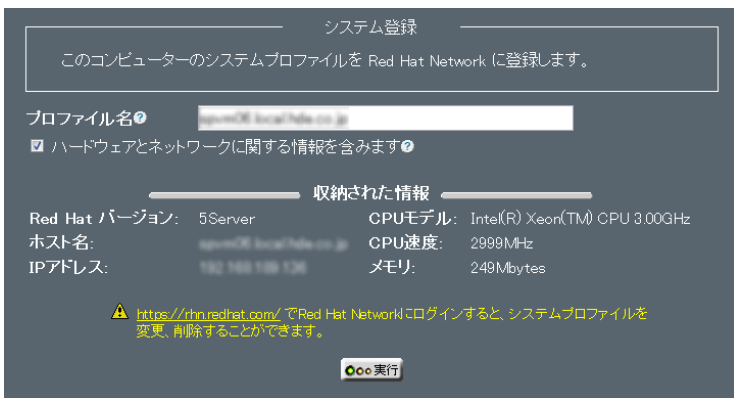
Red Hat Network のウェブサイト(<https://rhn.redhat.com>)にアクセスし、アカウントを登録してください。

既にアカウントが作成されている場合は、(2)へ進んでください。

- (2) このコンピューターのシステムプロファイルをRed Hat Networkに登録します。

「OS アップデート実行」で最新ソフトウェアへのアップデートを行うには、まずコンピューターを Red Hat Network に登録しなければなりません。既に登録済みの場合は、(3)に進んでください。

「システム登録」メニューより、プロフィール名を指定しシステムプロフィールの登録を実行してください。



登録済みのプロフィールを上書きしたい場合は、Red Hat Network のウェブサイト(<https://rhn.redhat.com>)にアクセスし不要なプロフィールを削除してから「システム登録」メニューで登録し直すことができます。

システムを登録するには、プロフィール名に任意の名前を指定し「実行」ボタンをクリックします。

このとき、「ハードウェアとネットワークに関する情報を含みます」を選択すると、このコンピューターのハードウェアとネットワークに関する情報も Red Hat Network に送信されます。

アップデートの際にどのソフトウェアとドライバが適切かを決定するために必要ですので、特に必要のない限りはチェックを外さないでください。

「実行」ボタンをクリックした後、Red Hat Network のアカウント名とパスワードの入力が求められますので、あらかじめ Red Hat Network に登録されたアカウント名とそのパスワードを入力します。

登録が完了した場合は、「登録に成功しました。」のメッセージが表示されます。

- (3) OSアップデートの設定を行います。

「OS アップデート設定」メニューより、アップデート動作に関する設定を行います。

通常は変更の必要はありませんが、プロキシの設定をしたい場合など必要に応じて設定を変更してください。

■ 一般設定

一般設定		取得/インストール設定	
ネットワーク設定			
HTTPプロキシを有効にする場合は以下を設定してください。			
プロキシサーバー	<input type="text"/>		
ポート番号	<input type="text"/>		
HTTPプロキシ認証を使う場合は以下も設定してください。			
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="text"/>	<input type="text"/>	(再入力)
<input type="button" value="設定する"/>			

プロキシ経由でアップデートサーバーに接続する場合は、「プロキシサーバー」に使用するプロキシサーバー名、「ポート番号」にポート番号を入力してください。

プロキシサーバーでユーザー認証が必要な場合は、「ユーザー名」、「パスワード」を入力してください。

■ 取得/インストール設定

The screenshot shows a configuration window with two main sections:

- パッケージ除外オプション (Package Exclusion Options):** A text input field labeled "アップデート時にインストールをスキップするパッケージ" (Packages to skip installing during update) contains the text "mod_security, squidguard, kernel*, iproute".
- パッケージインストールオプション (Package Installation Options):** A checkbox labeled "インストール後に、パッケージをディスクに保存する。" (Save packages to disk after installation) is checked. Below it, a text input field labeled "キャッシュ保存ディレクトリ" (Cache save directory) contains "/var/cache/yum". A button labeled "ディレクトリ選択" (Select directory) is next to it.

At the bottom of the window is a button labeled "設定する" (Apply/Save).

アップデートパッケージの取得とインストールの動作に関する設定を行います。

アップデート時にインストールをスキップしたいパッケージの名前を「アップデート時にインストールをスキップするパッケージ」に入力してください。

複数のパッケージを追加したい場合は、1行に1パッケージ名で入力します。

また、パッケージ名の指定にはワイルドカードが使用できます。

例. kernel ではじまるパッケージをアップデートしたくない場合

kernel*

パッケージのインストール後にパッケージファイルを削除せずに収納ディレクトリに保存したい場合には「インストール後に、パッケージをディスクに保存する」にチェックします。

ダウンロードされたパッケージファイルの収納されるディレクトリを「パッケージの収納ディレクトリ」に入力してください。

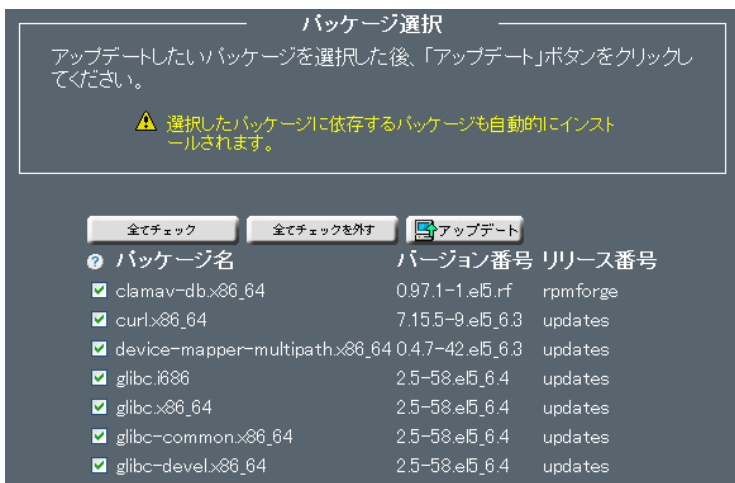
実際に保存される場所は、ここで指定したディレクトリ以下に作成されるサブディレクトリになります。

特に必要のない場合は変更しないでください。

- (4) 最新のソフトウェアにアップデートします。

「OS アップデート実行」メニューより、RPM パッケージの依存関係を解決しパッケージのアップデートを行います。

「OS アップデート実行」をクリックすると、このシステムで利用可能なパッケージの一覧が表示されます。



アップデートしたいパッケージを選択し、「アップデート」ボタンをクリックします。

一覧の全てのパッケージを選択した場合は「全てチェック」を、全てのパッケージの選択を解除したい場合は「全てチェックを外す」をクリックします。

「アップデート」ボタンをクリックした後、画面上に現在のアップデートの進捗状況が表示されます。

アップデートが完了すると、アップデートのログが表示されますので、アップデートが正常に完了したか確認してください。

